



ふらり らいふらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 177

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 先月末に刊行された『昭和天皇実録』を読みたい。

答) 『昭和天皇実録』は、図書室内にある開架書棚の5番に配架されています。
この度刊行されたのは、全19冊(本文18冊・索引1冊)のうち、第1回配本の2冊です。明治34年(1901)のご誕生から大正9年(1920)までの約20年間の昭和天皇に関する記録が収められています。

- ◇『昭和天皇実録 第1』自 明治三十四年 至 大正二年 (288/Ku41/1)
- ◇『昭和天皇実録 第2』自 大正三年 至 大正九年 (288/Ku41/2)

◎『昭和天皇実録』に関連する各資料も所蔵しています。あわせてご利用ください。

【開架書棚】

- 『卜部日記・富田メモで読む 人間・昭和天皇』(288/H29)
- 『昭和天皇独白録 寺崎英成・御用掛日記』(288/Sh97)
- 『高松宮日記 第1巻～第8巻』(288/Ta42/1～8)
- 『入江相政日記 第1巻～第6巻』(289/I64/1～6)

【閉架書庫】

- 『卜部亮吾侍従日記 1～5』(210.76/U81/1～5)
- 『思い出の記 秩父宮雍仁親王文集』(288/C42)



図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



「中島敦 父から子への南洋だより」

天皇皇后両陛下が、戦後70年にあたり太平洋戦争の激戦地・パラオをご訪問されました。パラオはかつて太平洋の島々を管轄する役所「南洋庁」が置かれた中心地でもあります。

「山月記」や「李陵」などで知られる小説家中島敦は、戦時中「南洋庁」へ教科書編集書記として赴任していました。この時期に彼は遠く離れた妻と子供にたくさんの手紙を書いています。

「中島敦 父から子への南洋だより」(915/N34 閉架書庫)の中に手紙の内容が収録されています。家族への深い愛情を感じるとともに、当時の南洋諸島の様子が浮かび上がってきます。今回はこの資料に掲載されている手紙の一部を抜粋しご紹介します。

<妻たかへの手紙 昭和16年7月6日>

今度、ついでがあつたら、送つて貰ひたいものは、ビスケット。(ヨーロッパので結構、)横濱の、本郷のアバラヤはなつかしいな。ノチャボン(次男ノボルの愛称)が、あの前の路をヨタヨタ歩いているだらうな、ストケシヤも咲いたらう?サルビヤはまだだらうな。

何だか涙が出てくるよ。

おたかさん、 敦、

<妻たかへの手紙 昭和16年11月9日>

二重マブタになつたといふ^{のぼる}格^{かほ}の顔は一寸想像できないな。イタヅラばかりしてるだらうな。やつぱりデブさんだらうね。この^{ひとつき}一月以来、オレの生活の中に、一つの^{きそく}規則をこしらへた。それは「午後四時以後、子供のことを考へないこと」といふのだ。^{のぼる}格^{たけし}や^{たけし}櫃^{たけし}のことが頭に浮んでくると、大急ぎで、聲をだして本をよんだり、近所に、無駄話に出かけたりして、そらして^{しま}了ふんだ。オレが最近、身体の調子の良いのもこの規則のおかげかもしれない。

<櫃^{たけし}への手紙 昭和16年11月28日>

コーヒーは木になるものですよ。^{たけし}櫃^{たけし}は、コーヒーなんて「フジャ」や「キクヤ」の^{みせ}お店の^{みせ}おくにしぜんにできるものだ、と思つてたんぢやないかい?

—図書室から—

防犯ゲートが誤動作をするケースが見られます。かばんの中の物に不用意に反応することがあるようです。手荷物はコインロッカー、大きな荷物はカウンターに預けていただくよう、ご協力をお願い致します。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 177

2015年4月20日 発行/編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1